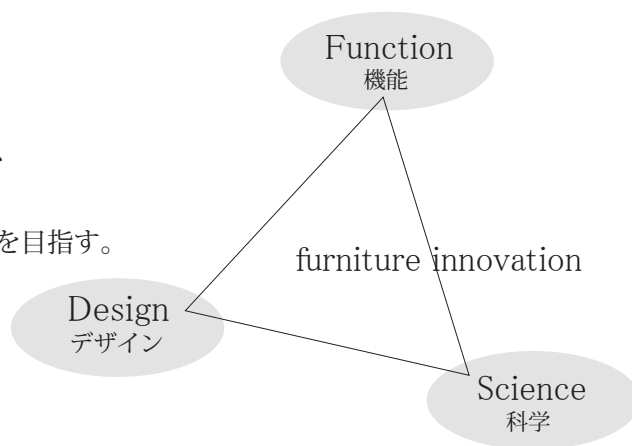


## Design Philosophy

### 「猫家具イノベーション」

人の使い心地や家具としての機能性を基本としながらも、一般的な”猫専用”家具やツールとも異なり、猫の習性や認知行動研究に基づく知見を利用した独創的な家具開発を目指す。



## Design Image

### 「Minimal Japanese」

ミニマルジャパネスク

日本の伝統的な美意識と、装飾をそぎ落とした「ミニマリズム」を融合させたデザインやスタイルを提案。上質な生活空間に調和するデザイン家具です。



## 設計・開発協力

### 開発アドバイザー



### 金巻とも子

Tomoko Kanemaki

一級建築士 / 博士 (工学)  
家庭動物住環境研究家

- 1級建築士事務所 かねまき・こくぼ空間工房 主宰
- 動物と暮らす住研究所所長
- NPO法人アナイス 理事 (環境部会)
- 工学院大学 建築学部建築学科 非常勤講師
- ヤマザキ動物看護専門職短期大学  
動物生活環境学 非常勤講師
- 一般社団法人ペットインテリア協会 アドバイザー

犬・猫などの家庭動物と人が、健康で安全に暮らせる住まいをつくることを専門とする建築家です。建築学と動物生活環境学の両面から、人と動物の双方が「楽」で「楽」しく過ごせる住環境に取り組んでいます。

### 研究委託



京都大学  
人と社会の未来研究院  
OHIS  
Kyoto University Institute for the Future of Human Society

### 高木 佐保

Saho Takagi

特定助教

専門分野：比較認知科学

私の専門は比較認知科学です。比較認知科学は、ヒトやヒト以外の動物の認知機能を相互に比較しあうことで、心の進化について解明する学問です。私はその中でも、伴侶動物のネコに興味を持って研究を進めています。ネコは元々は単独性の動物ですが、今や同種であるネコや異種であるヒトに対して社会性を身に着けています。そこには他個体に対して寛容性が高まる、家畜化というプロセスが働いたと考えられます。ネコは家畜化によってヤマネコからどのように変化したのでしょうか。この問を明らかにするために、近縁種との行動比較、ネコ種内での行動の地域差や家畜化で変化するとされているホルモンの比較を行っていきたいと考えています。